



防災・減災日本一に向け、関係機関や市民との連携をより強化 排水ポンプ車操作訓練やボランティア受入れ訓練を初実施！ 『龍ヶ崎市 市民防災フェア2017』を開催（8/20）

「防災・減災日本一」を目指す本市では、災害対策基本法及び同法に基づく地域防災計画の定めるところにより防災関係機関が共同して総合的な防災訓練を実施し、災害時における防災活動の円滑化と防災関係機関相互の協力体制を強化し、市民の防災意識の普及啓発及び防災意識の高揚を図ることを目的として『龍ヶ崎市市民防災フェア2017』を8月20日（日）に開催します。

今回の市民防災フェアでは、自主防災組織による「初動対応実動訓練」のほか、茨城県防災航空隊の防災ヘリコプターによる「要救助者搬送訓練」および稲敷広域消防本部高度救助隊による「救助訓練」、ライフラインの復旧訓練など、これまで同様に行う訓練のほか、**新たに以下の訓練項目を実施**します。

【今回初めて実施する訓練】

- ① 「災害ボランティアセンター」を立ち上げ、ボランティアの受け入れ対応訓練
- ② 国土交通省が保有する「排水ポンプ車」の操作訓練

| | |
|----------------|---|
| ■ 日 時 | 平成29年8月20日（日） 午前8時から午後0時30分まで |
| ■ 場 所 | 龍ヶ崎市川原代町33-1 国土交通省牛久沼排水機場地先 小貝川市民運動公園 |
| ■ 主 催 | 主 催：龍ヶ崎市・龍ヶ崎市防災会議 共 催：稲敷広域消防本部龍ヶ崎消防署 |
| ■ 内 容 | <p>【訓練想定】 8月20日午前8時15分頃、茨城県南西部を震源とする地震が発生。地震の規模はM7.3、当市は6強を観測し、防災行政無線が自動放送を行った。市内各所で家屋の損壊や火災、市内南側低地部では一部液状化現象、北側高台部下では土砂崩れが発生し、ライフラインの一部も使用不能に陥ってしまう。</p> <p>災害対策本部長（市長）は「災害対策本部」を設置し、市職員を地区活動拠点などに派遣し、情報収集を行うとともに、住民の救出救助を優先活動としてあたるよう市職員に命令した。さらに消防・警察・自衛隊等の関係機関に対して、人命救助活動の要請を行うこととした。</p> <p>【訓練内容】 防災関係機関相互の連携と住民の研修を目的とした「実動訓練」、及び市民が気軽に防災にふれあえる「展示・体験ひろば」の二部構成同時進行型の訓練です。 ※詳細は、別添プログラムを参照ください。</p> |
| ■ 来場者 （対象者） | 国、県、公共機関、企業、団体、消防機関など50を超える機関・団体、および一般見学者など約1,000人の来場者を見込んでいます。 |
| ■ 資 料 | 龍ヶ崎市 市民防災フェア2017 プログラム（案） |

| | |
|-----|---|
| 担当課 | 龍ヶ崎市 危機管理課 担当者：昇（のぼる）、小野瀬（おのせ） 連絡先：0297-60-1514 |
|-----|---|

平成27年度実施時の模様

【稲敷広域消防本部高度救助隊による「救助訓練」】



【子どもたちも楽しめる「展示・体験ひろば」】

